国際連携専攻コースマップ（指導の教育の質・学位の質等の担保について）

入口

原則として，TMGH修士課程又はLSHTMを優秀な成績で修了した者。

面接，外国語検定試験
書類審査等により選抜

国際共同研究等を実施することから，高い英語力を想定（IELTS 7.0 相当）

国際共同研究等への参加

研究計画書の審査

1年次後期：博士研究資格審査（Qualifying Examination）
JAC学務委員会による，研究計画書の審査を実施する。本審査に合格した者のみ，TMGHとLSHTMが共同で実施する国際共同研究やプロジェクトへの参加が認められる。

チーム型研究指導

1年次前期：研究指導チーム決定
JAC学務委員会による，学生のバックグラウンドにベストマッチングする主指導教員（1名）及び副指導教員（2 名）から構成される研究指導チームの決定。主指導教員がLSHTMの教員の場合，副指導教員のうち1名はTMGHの教員が担当する。

出口

TMGH及びLSHTMの教員・研究者や国際機関，国内機関（JICA等），国際NPOが実施する国際プロジェクトのリーダーを想定。

グローバルヘルス領域におけるTMGHとLSHTMの共同研究・プロジェクトの推進及び両大学の更なる連携強化を推進する人材の養成を目的としている。国際連携専攻における修了生は，将来的に日英が共同で推進する第3国での研究プロジェクトや実践プロジェクトのリーダーとして推進する能力に加え，日英のみならず、日本と欧米先進国や国際機関との連携強化を通じてグローバルヘルスを推進することができる能力を持った者となる。

研究指導チームの構築

学生の研究テーマに沿って研究指導チームを決定する。学生が，グローバルヘルス領域において国際共同研究等により卓越した博士論文作成が可能となる研究指導チームを構築。

研究計画書審査会による、進捗管理

研究計画書の審査を実施（審査委員の選考含む）する。
研究期間中の教育・研究の進捗管理を実施し，教育の室を担保する。

論文審査及び修了判定

論文審査における審査員を選定する。
また審査員による審査結果を精査し，修了判定を実施することにより学位の質を担保する。

Joint Academic Committee（JAC学務委員会）

入学 | 1年次（1～4Q） | 2年次（1～4Q） | 3年次（1～4Q） | 修了